

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>

第14回定時社員総会の開催 ～協会会長の交代～



【ご挨拶中の原田会長】

協会の第14回定時社員総会を令和5年6月19日（月）に東京都港区西新橋のAP虎ノ門で開催しました。

総会では、原田会長から『今後、改正建築基準法の「4号特例の縮小」等が施行され、設計事務所や住宅生産者の役割が複雑化・高度化していく中で、地域の住宅生産者の業務を支援するプレカット工場に対する要請も複雑化・高度化していくものと考えます。協会としても、このような動きに対するプレカット工場の対応力を高めることが重要と考え、工場の頭脳であるCADオペレーターの研修を充実したところです。また、多くのプレカット工場では、人手不足による外国人労働者に対する関心が高まっています。今年度の林野庁の事業である木材産業分野における特定技能制度の検討については、プレカット業も含めた制度として位置づけられるよう、協会としても期待するとともに、その検討に積極的に参画したい』といった旨のご挨拶がありました。

また、ご来賓として林野庁木材産業課上席木材専門官鈴木様、国土交通省住宅局木造住宅振興室長石井様にご臨席をいただくとともに、ご祝辞をいただきました。

議事では、令和4年度事業報告・収支決算の承認、令和5年度会費・役員報酬の決定のほか、今回の総会が役員改選期となったことから役員改選を行ったところ、3期6年にわたって会長を務められた(株)ランベックスジャパンの原田実生氏が退任され、新たに(株)ウンノハウスの工藤和夫氏が新会長に選任されました。また、副会長には久慈プレカット事業協同組合の日當和孝氏と(一社)全国木材組合連合会の本郷浩二氏が、専務理事に坂田幹人氏がそれぞれ選任されました。

「令和5年度作業安全強化促進支援事業」への参加

(一社)全国木材組合連合会が林野庁の補助を受けて実施する標記の事業に協会も参加することとなりました。事業では、各工場に木材・木材製品製造業の知識を有する安全指導者等の調査チームを派遣して、農林水産省の「農林水産業・食品産業のための規範」に基づいて工場の安全診断（所要時間はヒアリングと事業所内の確認で2時間半程度。受診料は無料）を行い、必要に応じて改善方策の提示等を行うものです。この安全診断・指導を受けられた方には、全木連から安全診断の受診証明書が発行されます。また、事業の結果は報告書等に取りまとめて公表すること（公表に際しては匿名も可）となっています。

木材・木製品製造業では、労働災害の発生率を示す死傷年千人率が、令和3年には全産業と比較して4.6倍と非常に高い状況にある中で、自社工場の安全点検に活用していただきたく、8月頃に会員の皆様を対象に受診希望者の公募を予定しています。

なお、「農林水産業・食品産業のための規範」に基づくチェックは、林野庁各種補助事業を利用するに当たっての要件とされていることにもご留意をお願いします。

令和4年度会員プレカット工場基礎調査の集計結果（第2回報告）

令和4年12月末現在についての「令和4年会員プレカット工場基礎調査」の集計結果の第2回報告を行います。
（調査回答数：42社、回収率：74%）

第2回報告では、会員工場における木材の使用量と部位別使用割合の集計結果を報告します。

2 使用木材

(1) 木材使用量（工場の規模別に集計）

区 分	使用量①（m3）	工場数②（工場）	①／②（m3／工場）
1万m3未満	41,359	7	5,908
1万～5万m3未満	544,746	25	21,790
5万～10万m3未満	129,000	2	64,500
10万m3以上	827,850	4	206,963
全体計	1,542,955	38	40,604

(2) 部位別の使用割合

単位：（%）

区 分	国産材製材	外材製材	国産集成材	輸入集成材	その他	計
全 体	26.5	24.5	20.8	26.0	2.3	100
うち柱	30.9	3.1	35.0	30.9	0.2	100
うち横架材	16.9	31.1	19.5	32.1	0.3	100
うち土台	55.6	15.4	20.9	8.0	0.0	100
うち間柱	41.1	29.1	18.8	10.1	0.8	100

○合板等面材の使用割合

単位：（%）

国 産 構造用	輸 入 合 板	国 産 LVL	輸 入 LVL	OSB	MDF	石膏ボード	その他	計
81.5	6.5	0.4	0	1.2	5.2	2.6	2.5	100

【補足説明】

- ①「木材使用量」は、令和4年に工場で使用した木材の量を記載しました。
- ②今回の調査は、協会の窓口を担当していただいている工場を対象としたことから、必ずしも会員が有する工場の全てが対象とはなっていません。
- ③「部位別の使用割合」は、柱、横架材等の区分毎に「国産材製材、外材製材、国産集成材、輸入集成材、その他」の割合を全体の計が100%となるように記載しました。
- ④「国産集成材」については、そのラミナが国産材であるか、外材であるか、ハイブリッドであるかについては区分していません。

【調査結果の分析】

- ①（1）では、全体的に木材の使用量は減少しましたが、規模別で「1万m3未満の小規模工場」の使用量が増加しました。
- ②（2）では、前年度の調査結果（プレカットニュースVOL.105参照）と比べて、国産材製材全般と国産集成材の横架材の割合が増加しました。

プレカット業況調査 (令和5年5月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率55%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回 DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	10	35	55	-45	-60
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	13	48	39	-26	-20
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	全体平均:5,500円 (前回:5,400円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	7	73	20	-13	-20
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	74	23	-20	-30
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	45	55	0	+45	+57
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	23	74	3	+20	+50
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	13	32	55	-42	-50
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	39	58	-55	-27

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

*前回調査:令和5年2月

【調査結果の分析】

受注額も収益も厳しい状況となっています。

- 1 今月の受注額のDIは-45で、前回の2月期から悪化が続いています。また、3ヶ月後の予測も2月期と同様に悪化すると予測が-26となっています。
- 2 構造材の加工単価の全体平均は100円アップの5,500円になりました。製品加工単価のDIは-13となり、3ヶ月後も-20と悪化の予測が続いています。
- 3 今月の資材入手状況は+45と容易の状況が続いています。また、3ヶ月後も+20の予測となっています。
- 4 今月の収益は「受注額」と同様に-42と前回同様の悪化となりました。3ヶ月後の予測も-55とさらに厳しくなる予測となっています。

「プレカット工場DX」のご提案 (第3回)

プレカット工場が木材産業DXの最先端となるための会員様からのご提案のページです。第3回も引き続き宮川工機(株)様からのご提案です。

宮川工機は前回ご紹介したBRAIN8をはじめ、いろいろなソフトウェアの開発を行っています。今回はメンテナンスサポートツールM-Assist、をご紹介いたします。

加工機のメンテナンス等で困ってしまう事はありませんか？

- ・ 休日、夜勤中に機械が止まってしまったが復旧方法が分からない。
 - ・ トラブル解消の手がかりが欲しい。
 - ・ 修理、復旧方法が電話のやりとりだけだと理解しづらい。
どこにどのセンサーがあるかわからない。
 - ・ メンテナンス、刃物交換等の履歴を管理したい。
 - ・ トラブル箇所の画像などをメールで送信する際、手間がかかってしまう。
- など、これらの困った事を解決するツールが「M-Assist」です。

M-Assistには、現在、4つの機能がございます。

1つ目はメンテナンスノート機能です。

トラブルなどで宮川工機が電話対応や出張作業をした案件については、弊社にて履歴を記載し、お客様にもご覧いただけます。メンテナンスノート機能ではカレンダーを使い工場の加工ラインで行うグリスアップ、刃物交換、印字装置のインク交換などを記録して頂くことで予防保全に活用できます。



2つ目はサポートマニュアル機能です。

サポートマニュアル機能ではトラブル発生時に検索機能を使い過去のトラブル事例を元にした復旧方法を簡単に調べることが出来ます。休日や、夜勤中でもアクセス出来ますので早期復旧に役立ちます。



3つ目はアルバム機能です。

加工機の動作が止まってしまった場合に、制御パソコンや操作パネルにエラーを確認しても、センサーなどの場所が分からない、ということはありませんか？こちらの機能で検索して頂きますと、画像で場所を特定する事が出来ます。センサーの他に、モーターや電磁弁の位置、機械のユニット等の画像も掲載されています。

4つ目はメール機能です。

加工機でトラブルが起きた時、また部品を発注する時に、パソコンからメールを送ることが手間だと感じることもあるかと思います。

こちらの機能では、タブレット端末やスマートフォンで撮影し直ぐに宮川工機へ送信する事が出来ます。



ここで一息、屋根パズルゲームM-ROOFで楽しみませんか？

アンドロイド



IOS

